

令和 3 年度 鬼怒中学校 学校評価書

1 教育目標（目指す生徒像含む）

（1）基本目標

確かな学力，豊かな心，健やかな体の調和のとれた「生きる力」をはぐくむ。

（2）具体目標（具体的な児童生徒像など）

○気力あふれる生徒 ○創造性を伸ばす生徒 ○心の豊かな生徒 ○進んで仕事をする生徒

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

（1）目指す学校像

- 活力に満ちた明るく，楽しい学校
- 互いを認め合い，思いやりのある学校
- 保護者・地域から信頼される学校

（2）目指す教師像

- 高い指導力と愛情をもって，生徒と向き合える教職員
- 生徒のよさを認め，伸ばす教職員
- 協調性に富み，責任感のある教職員

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

生徒を中心とした活力に満ちた明るく，楽しい学校づくりを目指し，全教職員が和と協力，熱意人間尊重の精神を基盤に『生きる力』をはぐくむ教育に取り組むとともに，地域と連携・協力し特色ある学校経営を推進する。

- （1）確かな学力の育成・・・新学習指導要領の求める主体的・対話的で，深い学びとなるように授業の工夫改善に取り組み基礎・基本を確実に習得させることに努める。また，自ら学習する態度の育成を図るため家庭学習の適切なやり方及び学習時間の確保について指導していく。
- （2）豊かな心の育成・・・生徒が活躍できる場の設定と異年齢集団活動及びボランティア活動の充実を図り，自信や自己有用感をもち，思いやりの心をもった心豊かな生徒の育成に努める。
- （3）安全指導の徹底と健康体力の増進・・・登下校の安全の徹底を図るとともに食育及び心身の健康に関する指導の充実を図る。
- （4）特別支援教育の充実・・・全教職員の共通理解のもと，配慮が必要な生徒に対して組織体制を確立し，連携協力して指導する。
- （5）小中一貫教育の推進・・・地域学校園の部会組織を活性化し，小中が抱える共通の課題を明確化にして連携しながら解決を図る。また，児童・生徒の交流する機会を検討し実践していく。
- （6）家庭・地域との連携強化・・・学校教育への理解を深めるため，家庭や地域に情報を積極的に発信するとともに，生徒の地域行事への参加を促す。
- （7）教職員の健康安全管理と資質の向上・・・校務の効率化を意識し，組織的な対応を図る。また各自が課題を意識し，教育のプロとしての自負と責任をもちコンプライアンスを遵守する。さらには，学びあいの精神で授業力の向上を図る。

[鬼怒地域学校園教育ビジョン]

～自分でよく考え 未来に向かって たくましく生きる子供の育成～

4 教育課程編成の方針

- (1) 地域や施設設備，教員構成及び生徒の実態，発達段階や特性等を十分に配慮し編成する。
- (2) 基本的な「学び方」の習慣を身に付けさせるため，教科における学習指導はもとより，道徳や特別活動，総合的な学習の時間等で意図的・計画的に指導を行えるように編成する。
- (3) 好ましい人間関係の醸成，基本的なモラルや社会生活上のルールの習得，他者と協力して，よりよい生活を築こうとする自主的，実践的な態度を育成するため，道徳や特別活動を効果的に展開できるように編成する。
- (4) 他者に対する思いやりの心や，不正を絶対に許さないという心，さらには良いことを進んで行おうとする意欲を，全教育課程で育て，生徒自身の心に「いじめに対する抑止力」を付けさせる。

5 今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

- 【学 校 運 営】・創意と調和のある教育課程の編成・実施するとともに学校課題の解決に努め，教職員が一致団結しての学年・学級経営にあたり，信頼される学校づくりを推進する。
- 【学 習 指 導】○主体的に学ぶ生徒の育成に務め確実に基礎・基本的内容の定着に努める。また，日頃から積極的に対話的活動を展開し，深い学びに繋げる。
- 【児 童 生 徒 指 導】○日常生活の中で優しい心を培うとともに集団生活を通して互いを認め合い，他者を思いやる態度の育成を図る。
- 【健康（体力・保健・食・安全）】 ○進んで運動に親しむ態度の育成と，安全で心身が健康な生活を送る態度の育成を図る。

6 自己評価（評価項目のAは市共通，Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は，文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には，A拡充 B継続 C縮小・廃止，を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
目指す生徒の姿	A 1 生徒は，進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 80%以上 生徒の肯定的回答 90%以上	①「ねらいを示す」「振り返りを行う」を授業で徹底して行い，知識の定着を図る。 ②家庭学習ノートを活用し，家庭学習の定着を図る。 ③深い学びにつながるよう，言語活動（発言力・発表力・理解する力）の充実を図る。 ④生徒が主体的に学習に取り組むような課題の設定や「学び合う活動」を授業に取り入れ生徒のコミュニケーション能力の向上を図る。	B	【達成状況】 生徒の肯定的回答が 91.0%、教職員の肯定的回答は 86.8%と共に数値指標を上回っている。 【次年度の方針】 ①②今後も継続して家庭学習習慣を図っていく。また学習内容の定着を目指し、問題演習を多く取り入れていく。 ③今後も「社会とのつながり」を意識した授業を心がけ、学習内容がどのように活かされているか考える授業に取り組んでいく。 ④授業で「学び合う活動」ができよう、グループワークや互いの意見を交換し、より深い理解につなげるよう授業を工夫する。

A 2 生徒は、思いやりの心をもっている。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 80%以上 生徒の肯定的回答 90%以上	①考え、議論する道徳の授業の実践を通して、「思いやりの心」をもって人と接することが普段の学校生活と結びつけられるよう生徒の道徳力を向上させる。 ②朝の読書活動を行うことで、豊かな感性を育む機会の充実を図る。 ③地域の清掃やボランティア活動を通して、社会の一員としての自覚と豊かな心の育成を図る。	B	【達成状況】 生徒の肯定的回答が 92.1%、教職員の肯定的回答は 84.2%と共に数値指標を上回っている。 【次年度の方針】 ①教え育てる道徳教育を推進し、日常生活場面を含む学校生活全体を通して全教職員で実践として教え、道徳の授業を年間指導計画通りに実施し道徳の授業を中心に内面的資質を育てる。 ②朝の読書活動では様々なジャンルの本に触れることで、豊かな感性を育む機会の充実を図る。 ③地域の清掃やボランティア活動を通して、社会の一員としての自覚と豊かな心の育成を図る。
A 3 生徒は、きまりやマナーを守って、生活をしている。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 65%以上 生徒の肯定的回答 85%以上	①生徒がルール作りを行うなどの主体的な活動を通し、自分たちでより良い生活にしようという意識を養う。 ②委員会活動を活性化し、更なる規範意識の育成や心のマナーの向上を図る。	B	【達成状況】 生徒の肯定的回答が 89.7%、教職員の肯定的回答は 78.9%と共に数値指標を上回っている。 【次年度の方針】 ①学校生活をより良くするためのマナーや校則について生徒が主体的に考え、行動する意識を養う。 ②委員会活動を活性化し、更なる規範意識の育成や心のマナーの向上を図る。
A 4 生徒は、時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 65%以上 生徒の肯定的回答 95%以上	①挨拶にも思いやりの心が表れることを継続的に伝え、自分から明るい挨拶をする態度と他者を思いやる心を養う。 ②生徒会執行部や生活委員等と協力し、あいさつ運動の充実を図り、その定着をはかる。 ③大きな声ではっきりと挨拶ができるよう、登下校時や授業・部活動等で継続指導する	B	【達成状況】 生徒の肯定的回答が 93.9%、教職員の肯定的回答は 71.1%と共に数値指標を上回っている。 【次年度の方針】 ①挨拶にも思いやりの心が表れることを継続的に伝え、自分から明るい挨拶をする態度と他者を思いやる心を養う。 ②生徒会執行部や生活委員等と協力し、あいさつ運動の充実を図り、その定着をはかる。 ③相手に伝わるような時と場に応じた挨拶ができるよう、登下校時や授業・部活動等で継続指導する
A 5 生徒は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 75%以上 生徒の肯定的回答 90%以上	①学校行事や部活動等において、目標をもたせ、その達成に向けてあきらめずに努力する力を育てる。 ②キャリアパスポートを活用した授業を実践する。	B	【達成状況】 生徒の肯定的回答が 86.6%、教職員の肯定的回答は 63.2%と数値指標を共に下回っている。 【次年度の方針】 ①学校生活の中で、目標達成を意識・評価できる取組を実践する。 ②キャリア教育、キャリアパスポートの教職員への周知を積極的に行う。

A 6 生徒は、健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 80%以上 生徒の肯定的回答 95%以上	①感染症予防対策の新しい生活習慣を徹底させ、バランスの良い食事や適度な睡眠時間を確保し、自身の健康の向上の意識を高める。 ②マスク着用・手洗い・うがいの徹底のために保健だよりや掲示物、委員会との連携を図る。 ③「交通安全教室」「薬物乱用防止教室」「避難訓練」を実施するとともに、教科横断的な視点を持って他の教科指導と関連づけて指導する。	【達成状況】 生徒の肯定的回答が 92.9%と数値指標は上回っているが、教職員の肯定的回答は 71.1%と数値指標に届かなかった。 【次年度の方針】 ①生徒に健康や安全に気を付けて生活するということはということかを他の教科指導と関連付けて指導する。 ②睡眠時間を確保するために、スマホやゲームの使用の仕方について、家庭と連携を図って指導する。 ③交通ルールの指導を徹底する。
A 7 生徒は、夢や目標をもって、社会に貢献できるよう努力している。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 75%以上 生徒の肯定的回答 90%以上	①「職業について学ぶ」(1年)、「社会体験学習」(2年)、「自己の生き方について考える」(3年)を通して、自己のキャリア形成に必要な能力や態度の育成を図る。 ②あいさつ運動、ボランティア活動等に積極的に参加し、社会の一員である自覚を促すとともに、社会貢献の態度と育成を図る。	【達成状況】 生徒の肯定的回答が 86.6%、教職員の肯定的回答は 63.2%と数値指標を共に下回っている。 【次年度の方針】 ①「職業について学ぶ」(1年)、「社会体験学習」(2年)、「自己の生き方について考える」(3年)を通して、自己のキャリア形成に必要な能力や態度の育成を図る。 ②本校の特色ある学校活動の一つである「ピカピカクリーン大会」について、その歴史や地域への貢献について、生徒に理解させ、活動への意欲・関心を高め、社会貢献の態度と育成を図る。
A 8 生徒は、英語を使ってコミュニケーションしている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 90%以上	①英語の授業で、ウォームアップの際に既習の英語を用いた生徒同士のコミュニケーションを行う。 ②英語の授業の中で、英語のみを使ったやりとりの活動を取り入れる。 ③新出単語や表現の学習の際に、英語を発話する機会を作る。	【達成状況】 生徒の肯定的回答が 80.1%と数値指標を下回っている。 【次年度の方針】 ①ALT を積極的に活用し、言語活動の充実を図る。 ②インタビュー活動やパフォーマンステストを設けて、生徒が英語を活用する機会を増やしていく。
A 9 生徒は、宇都宮の良さを知っている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 90%以上	①宇都宮の歴史や風土・産業・文化財などについて、社会科や総合的な学習の時間（宇都宮学）において調査・研究を行い、宇都宮の良さに気づき、その良さを共有する。 ②「鬼怒中学校地域協議会」との連携を図り、学区内（御幸地区・御幸ヶ原地区・平石地区）の歴史やよさについて学ぶ機会を設ける。	【達成状況】 生徒の肯定的回答が 82.2%であり、数値指標を下回っている。 【次年度の方針】 ①総合的な学習の時間（宇都宮学）において、宇都宮の歴史や風土・産業・文化財についてタブレットを使用して調査・研究を行い、宇都宮の良さを認識させる。 ②「鬼怒中学校地域協議会」との連携を図り、学区内（御幸地区・御幸ヶ原地区・平石地区）の歴史やよさについて学ぶ機会を設ける。

	A10 生徒は、I C T機器や図書等を学習に活用している。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 70%以上	①調べ学習や発表する場面等で、積極的にICT機器を活用していく。 ②教科・領域ごとの学校図書館活用計画の下、学習に役立つ図書を生徒・教員に積極的に紹介する。 ③生徒一人1台のパソコンを授業で使えるよう教職員のICT活用研修を行う。	B	【達成状況】 生徒の肯定的回答が87.2%と数値指標を上回っている。昨年度の65.0パーセントより大幅に向上しているのは、一人一台のパソコンの活用が影響していると考えられる。 【次年度の方針】 ①授業や授業以外の活動で個人用パソコンの使用場面を設けていく。 ②情報収集の手段がパソコンだけに偏らないように、学習に有用な図書を生徒に活用しやすいように整備する。教科の教員に働きかけて授業での積極的な活用を呼び掛ける。
	A11 生徒は、高齢者に対する感謝やいたわりの心をもっている。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 80%以上 生徒の肯定的回答 90%以上	①地区内の行事へ積極的な参加を促し、高齢者との交流を深めさせる。	B	【達成状況】 生徒の肯定的回答が92.1%、教職員の肯定的回答は84.2%と共に数値指標を上回っている。 【次年度の方針】 ①地区内の行事へ積極的な参加を促し、高齢者との交流の場をつくり、高齢者に対するいたわりの心を深めさせる。 ②日頃の会話を大切に、スタンダードダイアリーや授業、長期休業前後の計画や振り返り等においても高齢者に対する感謝を持てるような温かい言葉を示していく。
	A12 生徒は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 70%以上	①教科横断的授業の実践、総合的な学習の時間、委員会活動などの教育活動に「持続可能な開発目標(SDGs)」を関連づけ、「持続可能な社会」への関心を高める。 ②環境問題・自然災害・事故等を取りあげ、身の回りに起こっている出来事に関心を持たせる。	B	【達成状況】 生徒の肯定的回答が74.5%と数値指標を上回っている。 【次年度の方針】 ①教科横断的授業の実践、総合的な学習の時間、また生徒会活動を中心に委員会活動などの教育活動に「持続可能な開発目標(SDGs)」を関連づけ、「持続可能な社会」への関心を高める。 ②各教科の授業、学校行事などで環境問題・自然災害・事故等を取り上げ、身の回りに起こっている出来事に関心をもたせる。
目指す学校	A13 教職員は、特別な支援を必要とする生徒の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 95%以上	①校内支援委員会において、計画的に生徒を見ていく。また、支援が必要な生徒については個別の支援計画を作成し具体的な支援を共有し実践していく。 ②教育相談の研修を通してカウンセリング技術の習得に努める。	B	【達成状況】 教職員の肯定的回答は92.1%と数値指標を下回っている。 【次年度の方針】 ①学年会や教育相談部会の中で、支援が必要な生徒について検討する。 ②担任は個別の支援計画を作成し具体的な支援を共有し実践していく。 ③教室での具体的な支援の方法や具体的な教材、教具について研修する機会をもつ。

の 姿	A14 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 95%以上 生徒の肯定的回答 95%以上 保護者の肯定的回答 75%以上	①学校全体で年間を通していじめは許されないという強い気持ちを育てていく。 ②いじめゼロ集会、いじめアンケート、教育相談、道徳の授業の場面でも効果的に指導していく。 ③学校の取組を積極的に保護者や地域へ情報発信する。	B 【達成状況】 生徒の肯定的回答が 93.3%、教職員の肯定的回答は 100%、保護者の肯定的回答は 75.1%と全てで数値指標を上回っている。 【次年度の方針】 ①学校全体で年間を通していじめは許されないという強い気持ちを育てていく。 ②いじめゼロ集会、いじめアンケート、教育相談、道徳の授業の場面でも効果的に指導していく。 ③学校の取組を積極的に保護者や地域へ情報発信する
	A15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 95%以上 保護者の肯定的回答 85%以上	①日常の変化を見逃さず、家庭との連絡を密にし、問題発生を防ぐとともに、初期対応が迅速に行える体制を整える。 ②不登校対策の取組として1人1台パソコンの活用を検討する。	B 【達成状況】 教職員の肯定的回答が 97.4%と数値指標を上回っているが、保護者の肯定的回答は 82.7%と数値指標を下回っている。 【次年度の方針】 ①担任だけで悩まず、変化があったら学年に報告相談する。1日休んだら電話連絡、2日休んだら家庭訪問、3日休んだら小ケース会議を行う。 ②Google Classroom や meet での活用を検討する。
	A16 教職員は、外国人児童生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 95%以上	①教職員で日本語指導の支援が必要な生徒を面談等で適切に見極め、保護者や関係機関と連携して個人に合った支援を行う。	B 【達成状況】 教職員の肯定的回答は 92.1%と数値指標を下回っている。 【次年度の方針】 ①日本語指導の支援が必要な該当生徒及び保護者を、面談等を通して確実に把握し、日本語ボランティアや関係機関を含めたチームを作り、個に応じた支援体制で取り組む。
	A17 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 85%以上	①生徒の自主性を尊重しながら、企画運営を任せる活動を設定する。 ②生徒の実態に即した学校行事の位置づけを行い、生徒が自発的に活動できるような工夫を行う。	B 【達成状況】 生徒の肯定的回答が 85.4%と数値指標を上回っている。 【次年度の方針】 ①生徒会活動を通して、生徒の自主性を伸ばす活動を工夫して行うとともに、各委員会活動の活性化を図る。 ②学校行事等の企画運営に、生徒の意見を取り入れ、自己有用感を得ることができるような場を設定するなどの工夫を行う。

A18 教職員は、分かる授業や生徒にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 90%以上	①一斉指導の中の個別指導を念頭に、設問や机間指導の際に、個に応じた配慮を行う。 ②一人一授業を全職員で実施し、参観レポートを作成するなど校内で相互研修を行うことにより、個々の授業力の向上を図る。	【達成状況】 生徒の肯定的回答が90%と数値指標を達成している。 【次年度の方針】 ①今後も個に応じた指導を心がけ、授業では目標をいくつか設定し、自分に合った目標課題に取り組めるよう指導・支援していきたい。 ②研究授業を取り入れることで、指導方法の充実を図るとともに、評価方法など研修を適宜取り入れていきたい。
A19 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 90%以上	①校務運営規程をもとに職務・業務内容について理解を深めるとともに、教職員が相互に連携して業務に当たる。 ②校内だけでなく関係機関と協働して生徒の健全育成に努める	【達成状況】 教職員の肯定的回答は92.1%と数値指標を上回っている。 【次年度の方針】 ①教職員の経験年数等を考慮して校務分掌を割り振る。 ②校務運営委員会や職員会議・学年主任会議や学年会議を通して全教職員の共通理解を図る。 ③校内だけでなく関係機関と協働して生徒の健全育成に努める
A20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 70%以上	①各自の勤務時間を意識させるとともに、会議の分散・会議時間の短縮を心掛ける。 ②普段からOJTを活用し仕事の効率化を図る。	【達成状況】 教職員の肯定的回答は60.5%と数値指標を下回っている。 【次年度の方針】 ①コロナ禍でも教員に負担とならないよう教育課程を編成する。 ②ミライムの出退勤管理を利用し各自の勤務時間を意識させる。 ③会議が重ならないようにし、効率の良い会議を心掛ける。
A21 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 教職員の肯定的回答 75%以上 保護者の肯定的回答 80%以上	①地域学校園として小学校と連携を図り、9年間の発達段階に応じたキャリア教育、学習指導、生徒指導の計画を修正・改善する。 ②学力向上、不登校対策、特別支援教育の充実に向けた連携、協働を図る。	【達成状況】 教職員の肯定的回答が68.4%と数値指標を下回っているが、保護者の肯定的回答は80.3%と数値指標を上回っている。 【次年度の方針】 ①小学校と連携を図り、学力向上部会、生活支援部会、健康安全部会、交流調整部会の取組について検討し、計画的に実施する。 ②学力向上、不登校対策、健康安全の充実に向けた連携、協働を図る。

A22 学校は、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。 【数値指標】 地域住民の肯定的回答 80%以上 保護者の肯定的回答 80%以上	①地域コーディネーターと連携し、魅力ある学校づくり地域協議会の有効活用を推進する ②地域に目を向けた教育活動を通して、生徒の郷土愛を育てる。	B	【達成状況】 地域住民の肯定的回答が 84.0%、保護者の肯定的回答は 83.6%と数値指標を共に上回っている。 【次年度の方針】 ①地域コーディネーターと連携し、魅力ある学校づくり地域協議会の有効活用を推進する。 ②地域に目を向けた教育活動や地区内のお祭りなどへのボランティア活動を通して、生徒の郷土への思いや郷土愛を育てる。
A23 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、よりよい生徒の育成に取り組んでいる。 【数値指標】 地域住民の肯定的回答 85%以上 保護者の肯定的回答 85%以上	①地域コーディネーターと連携し宮っ子チャレンジウィーク、社会人先生に聞く、幼稚園実習等で、地域の教育力を活用する。	B	【達成状況】 地域住民の肯定的回答が 84.0%、保護者の肯定的回答は 83.6%と数値指標を共に下回っている。 【次年度の方針】 ①地域コーディネーターと連携し宮っ子チャレンジウィーク、社会人先生に聞く、幼稚園実習等で、地域の教育力を活用する。 ②地域や企業と関わり合った様子を「鬼怒中学校地域協議会」と連携し、「鬼怒だより」「学年だより」「学級だより」やHP等で積極的に情報発信していく。
A24 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】 地域住民の肯定的回答 90%以上 保護者の肯定的回答 90%以上	①安全点検や施設利用者から環境改善情報を収集し、学校業務嘱託員や機動班と連携を図り、速やかな処置・対応を行う。	B	【達成状況】 地域住民の肯定的回答が 92.0%、保護者の肯定的回答は 90.7%と数値指標を共に上回っている。 【次年度の方針】 ①安全点検や施設利用者から環境改善情報を収集し、学校業務嘱託員や機動班と連携を図り、速やかな処置・対応を継続して行う。
A25 学校は、学習に必要なICT機器や図書等を整えている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 70%以上	①GIGA スクール構想で届くパソコンを授業で使えるよう準備する。 ②各教科・領域の中で、図書の活用によって学習効果が向上する単元を調べ、適切な図書資料の購入に努める。必要に応じて公立図書館と連携し豊富な図書資料を準備する。	B	【達成状況】 生徒の肯定的回答が 87.2%と数値指標を上回っている。 【次年度の方針】 ①個人用パソコンやその他の ICT 機器の管理を適切に行う。 ②図書館担当教員が中心となり、適切な図書資料の購入に努める。必要に応じて公立図書館と連携し豊富な図書資料を準備する。

本校の特色・課題等	B1 生徒は、登下校の際、交通ルールやマナーを守っている。 【数値指標】 保護者の肯定的回答 80%以上 地域住民の肯定的回答 80%以上	①1学期は新入生の交通事故や自損のけがが多く、大きい自転車に不慣れな生徒が多いと考えられる。そのため、新入生を対象とした、自転車の乗り方や交通マナーについて学ぶ交通安全教室を4月頃に企画する。 ②危険箇所については、通学路の整備・見直しを実施し、保護者・地域からも行政に働きかけてもらう。 ③PTAによる「愛の一声運動」の実施。	B 【達成状況】 地域住民の肯定的回答が88.0%と数値指標は上回っているが、保護者の肯定的回答は69.1%と数値指標を下回っている。 【次年度の方針】 ①新入生を対象とした鬼怒中独自の自転車講習会の実施。在校生の事故が増えたので全校生徒対象の交通安全教室を年2回に増やし、計3回の交通安全教室を実施する。 ②通学路の整備・見直しを実施し、保護者・地域からも行政に働きかけてもらう。 ③PTAと教員による登校と下校の「愛の一声運動」の実施。
	B2 生徒は授業中に先生や友達の話をよく聞くなど、落ち着いている。 【数値指標】 生徒の肯定的回答 80%以上	①話す・聞く・考えるといった学ぶ力や学習に取り組む態度を育てる。また、どのような生徒も落ち着いて授業ができるような教室の学習環境を整える。	B 【達成状況】 生徒の肯定的回答が83.5%と数値指標は上回っている。 【次年度の方針】 ①話す・聞く・考えるといった学ぶ力や学習に取り組む態度を育てる。また、どのような生徒も落ち着いて授業ができるような教室の学習環境を整える。 ②疑問点を積極的に教師や友人に質問し、解決する学習への姿勢を養う。

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- ・27の質問項目で18項目が指標を上回った。
 - ・質問項目を生活面、学習面、健康安全面と大きく分類し数値を検討してみると、生活面に関することは、ほとんどの項目で生徒の肯定的回答が指標を上回り、また市全体の平均値を上回っている。このことから、学校の決まりやマナーを守り落ち着いた生活を行い、充実した学校生活を送っていると考えられる。
 - ・学習面に関することでは、ほとんどの項目で生徒、教職員の肯定的回答が指標を上回っているが、市全体の平均値より下回っている。本校課題である学力向上に向けて、ICT等を活用したわかる授業への取り組みを向上させ、家庭学習の習慣の定着、家庭での学習環境の改善など、さらなる充実を図れるような研究、授業の工夫、家庭への協力の呼びかけ等行う必要がある。特に学習内容の定着を図るために家庭学習時間の確保ができるよう家庭への協力を強く呼びかけたい。
 - ・健康安全面に関することでは、生徒の肯定的回答は指標を上回っているが、教職員、保護者、地域住民では指標を下回っている。これは、登下校中の自転車を運転する生徒と自動車等を運転する側の安全に対する意識の差が出ていると思われる。今年度は交通安全教室の中で実際に自転車の乗り方を徹底させたものの自転車の事故が数回あった。交通法規の遵守を改めて生徒に理解できるよう指導し、交通マナーの遵守や心のマナーの向上に努めていく。
 - ・新型コロナウイルス感染予防対策として、学校行事や保護者会や授業参観など中止や縮小を行った。保護者から「今年度は学校にいく機会が少なかったので、生徒の様子がよく分からない」との意見が多く聞かれた。この対策として本校HPの内容の充実や、各担任や学年主任等による各種たよりの充実を図った。今後も情報発信の方法や回数などを検討していく。
- 小中一貫教育・地域学校園に関する項目については、保護者、地域住民の数値は指標を上回っている。鬼怒中学校園としての取組に対して、理解をいただいていると思われる。その反面、生徒の肯定的回答が低いことは、乗り入れ授業やあいさつ運動などの縮小もあり、形に見えないことが生徒の回答に表れている。学校園での共通の課題である学力の向上に向けて、生徒の実態に合わせて効果的な取り組みができるよう工夫・研究を継続していく。

7 学校関係者評価

- ・自主学習ノートの活用等により、家庭学習の習慣化が徐々に図られてきている。引き続き学力向上に向けて、先生方の一層のご努力をお願いしたい。また、保護者への働きかけを、さらに積極的に行っていただきたい
- ・今年度も新型コロナウイルス感染防止のため体育祭の縮小や文化祭の中止になり、生徒の様子を見に行く機会が減って残念だった
- ・授業参観をしたが、生徒は落ち着いており、学習にも熱心に取り組んでいる。空席が多かったのが気になった。
- ・コロナ禍で行事などの制約が多い中、生徒たちのことを考え行動して頂けた先生方に感謝致します。
- ・今年度も地区内行事のボランティア活動などほとんど中止になってしまった。鬼怒中生徒が毎年積極的に活動してくれているので、来年度実施の際は協力をお願いしたい。ピカピカクリーン大会は実施できて、保護者や地域協議会の方々が多数参加して地域との交流ができた良かった。
- ・地域にもっと発信して どんどん利用したらいいと思う。

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- ・本校が重点目標としている、学力向上、家庭学習の習慣化に関しては、少しずつであるが成果が現れている。生徒の学習意欲も高まり、授業中の態度も向上し、生徒の呼びかけによる授業3分前着席など生徒の学習に向かう意識が向上している。タブレットを効果的に使い、視覚的に理解できる教材や、小グループでの話し合い活動で使用することで深い学びにつながってきている。今年度から完全実施になった新学習指導要領の「主体的対話的な深い学び」の授業が展開できるよう、さらに教職員の研修・研鑽を行い、主体的に学習に取り組む態度の育成を図ることが必要である。
 - ・自己肯定感や自己有用感を高めるために、生徒と教職員のよりよい人間関係を醸成するとともに、教育相談活動を充実させ、安全で安心な学校作りを目指し、不登校生徒が減少できるようにする。そのために、教員のカウンセリング技能の向上を図れるよう研修等を行っていく。
 - ・交通事故ゼロに向けて、生徒の自転車マナーの指導の徹底をする。交通安全教室や危険箇所マップ作成などの実施や、自転車運転者としての心のマナーの向上を図る。
 - ・生徒のボランティア活動については、地域コーディネーターを十分に活用し、新型コロナウイルス感染防止対策を行いながら学校と地域の連携と調整を図っていく。
- 「小中一貫教育・地域学校園」に関する項目では、活動状況が見にくいいため生徒の評価が低い。生徒の学習面や生活面に反映できる一貫教育の取組を小中で連携し9年間を見据えた指導内容や児童生徒活動を行い、鬼怒地域学校園の目標である「学習や学校行事等を通して、学校生活に意欲をもって取り組む子供の育成」が実現できるようにしていく。